

# 中山間地の環境保全と集約型農業の促進を目的とした地域ネットワーク型の農業法人組織化

提案者：伊東明彦（守谷環境情報ネットワーク）

## 課題

守谷市では、中山間地における放棄地が多く散在しており、守谷の景観を代表する里山風景や、地域の自然環境が減少してきている。

農地の多くは、私有地であり、個々の耕作者の意識に頼らざるを得ない。一個人や地域に根付いた環境団体のみの活動では、解決することが困難なことから、行政面での支援が必要と言える。



放棄地のイメージ

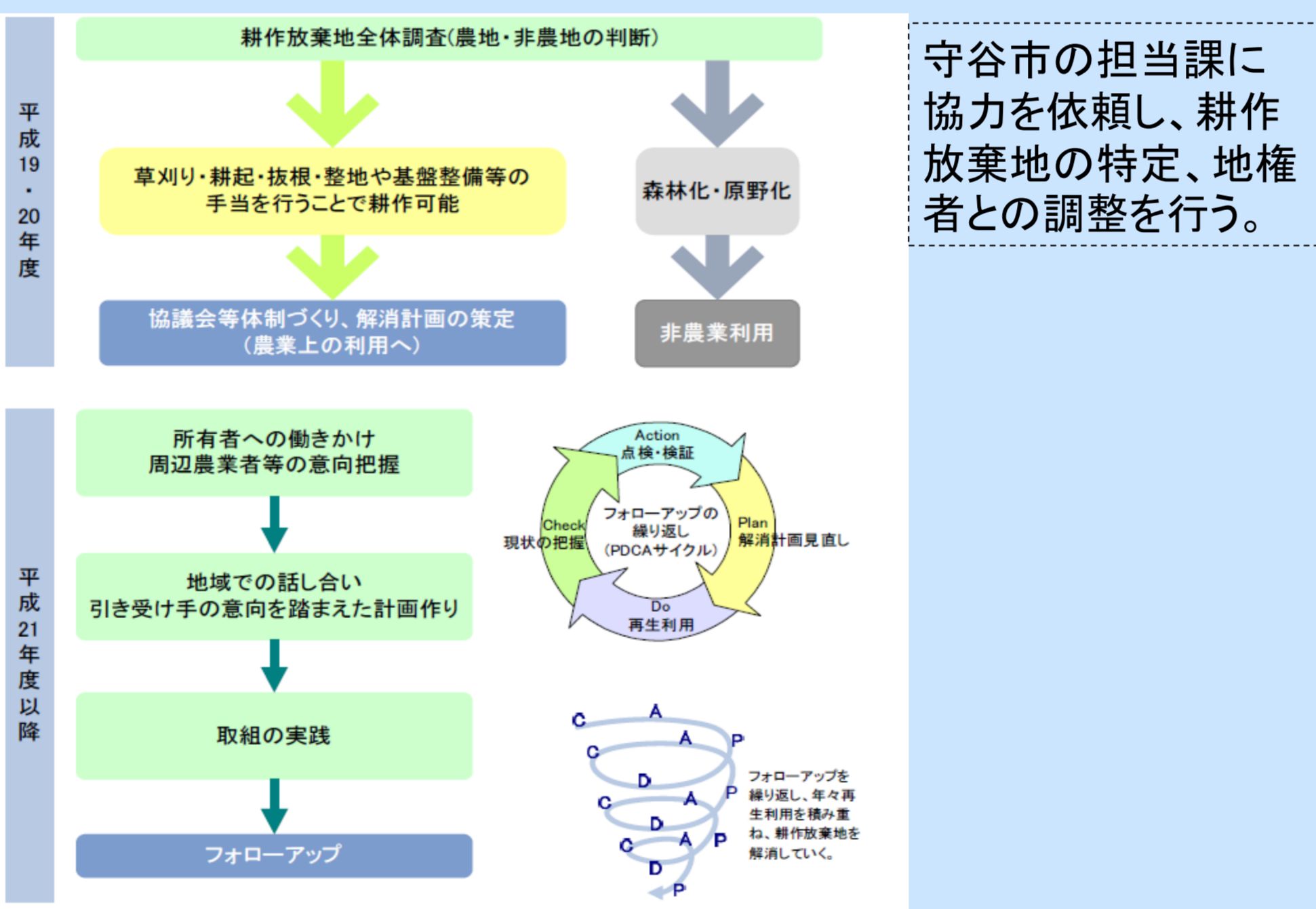
## 内容

- 1. 耕作放棄地の環境保全（里山の景観改善を含む）**  
経済課の支援を頂き、耕作放棄地を把握し、耕作の集約化ができないか、検討を実施する。
- 2. 農業就労者としての雇用創出**  
1で把握した耕作放棄地を利用する組織として、地域住民を主体とした地域ネットワークを形成する。
- 3. 農業を軸とした地域ブランドの創出**  
2で耕作する作物として、地域ブランド化できる作物を探索すると共に、その事業展開を検討する。また、農業を観光資源として捉え、つくばエクスプレス、常磐高速道路、守谷SAと連携したグリーン・ツーリズム化を目指す。



## 具体策

### 1. 耕作放棄地の環境保全（国の施策を可能な限り利用）



### 2. 農業就労者の雇用創出

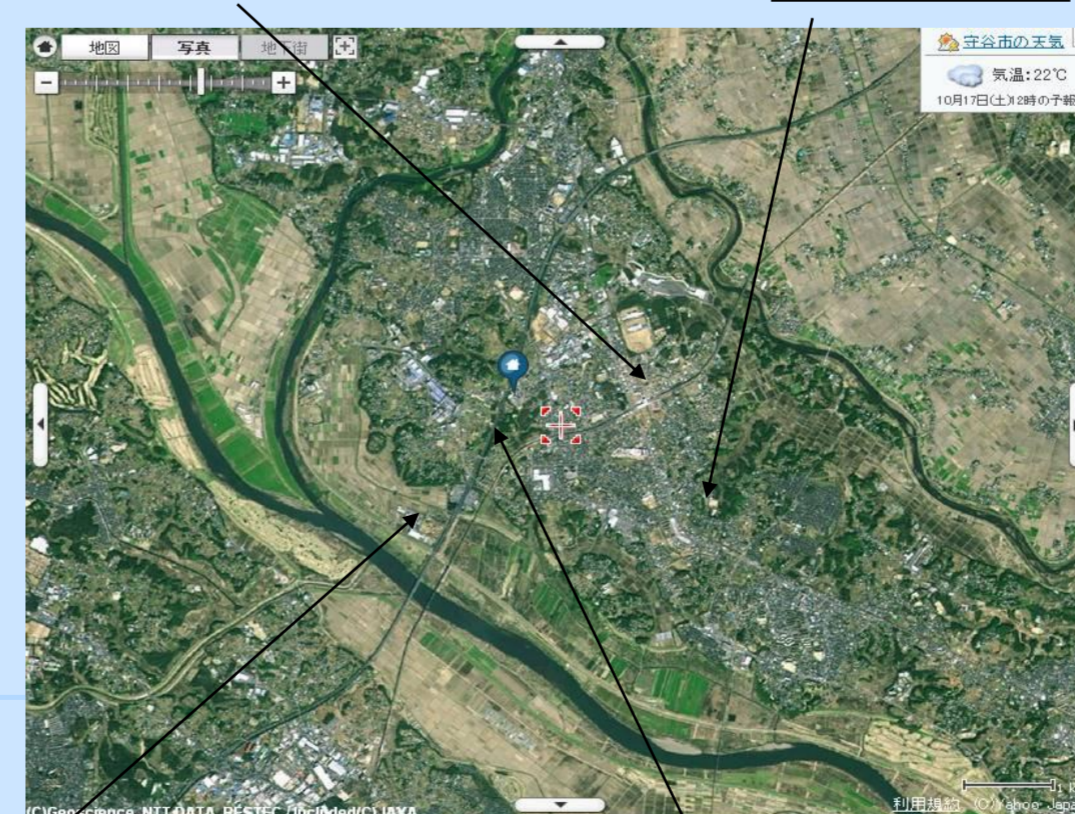
農業法人は、既存の法人を中心に実施して頂くことを予定しているが、既存の農業法人では難しい場合には、新たに農業法人を組織する。また、就労者は、住民を主体とし、地域ネットワークを形成する。  
（下記は、埼玉県のアガホリファームの例で、130名のパート職員がいる。）

		<b>会社概要</b>	
社名	農業生産法人 株式会社ナガホリ	所在地	埼玉県上尾市大字杏丁目108番地
代表者	代表取締役 永堀吉彦	創立	平成7年 有限会社ナガホリ設立 平成15年 組織変更により株式会社化
資本金	1,000万円	従業員数	社員 8名 大卒4名 短大・専門卒4名 パート130名 (2009年3月現在登録数)
電話	048-725-1966	栽培品目	小松菜 周年栽培：最大出荷量 6000kg/日 出荷形態：市場向けFG（袋入り） 加工向けバラ詰め 防虫ネットを用いた栽培 2006年より減農薬減化学肥料栽培へ移行 エコファーマーの認証を取得
FAX	048-726-0556		

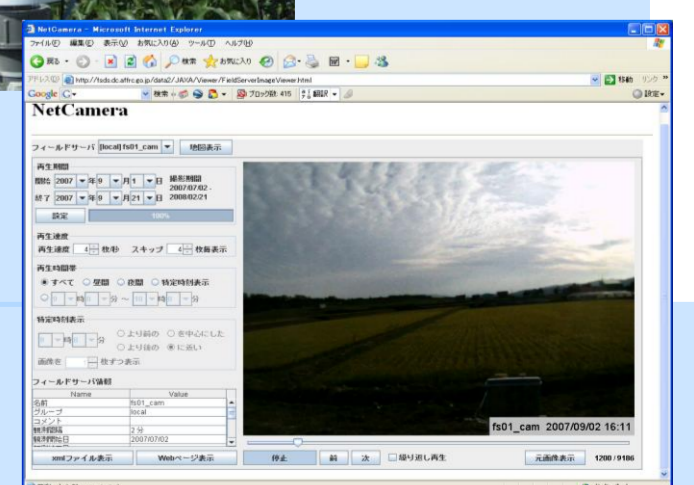
出典：[http://members.jcom.home.ne.jp/nou\\_nagahori/index.html](http://members.jcom.home.ne.jp/nou_nagahori/index.html)

### 3. 農業を軸とした地域ブランドの創出

つくばエクスプレス 国道294号



守谷サービスエリア 常磐自動車道



道路・鉄道網の整備が進んでいることから、これらの利点を活かした街作り・グリーン・ツーリズムを計画する。また、守谷の気象・土壌等を活かしたブランド作物の創出を行う。

都心の会社員でも社内のPCや自宅から、常時、ほ場の状態を把握することが可能。

## 効果

- 耕作放棄地の環境保全（里山の景観維持）
- 農業就労者としての雇用創出
- 農作物の地域ブランドの創出

出典：農林水産省 耕作放棄地の再生利用のために  
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/tikei/houkiti/pdf/zsankou.pdf>